

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライオンハート美香保		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 1日		～ 令和8年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 1日		～ 令和8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を中心としつつ、個別の学習支援や音楽療法、創作活動等を組み合わせることで、子どもの特性や発達段階に応じた多角的な支援ができています	活動スペースを分けることで、集中できる環境と身体を十分に動かせる環境の両立を図っている	職員間での支援前後の打ち合わせや振り返りの機会を確保し、チーム支援の質を高める
2	活動内容に応じて静的活動と動的活動の空間を分けるなど、構造化された環境設定により、子どもが見通しを持って安心して過ごせる環境が整っている点	活動スペースを分けることで、集中できる環境と身体を十分に動かせる環境の両立を図っている	活動内容や支援意図について、保護者へより分かりやすく発信する仕組みを強化する

3	個別支援と小集団活動をバランスよく取り入れ、対人関係や社会性の発達を促す支援が実践できている点	日々の記録やモニタリングを通して支援内容の見直しを行い、継続的な支援の質の向上に努めている	地域との交流機会や外部との関わりを取り入れ、社会経験の幅を広げる
---	---	---	----------------------------------

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援前後の職員間での打ち合わせや振り返りの時間が十分に確保できていない点	シフト勤務体制により、全職員が揃って打ち合わせを行う時間の確保が難しいこと	短時間でも実施可能なミーティング方法（記録の共有・ICT活用等）を取り入れ、職員間の情報共有を強化する
2	地域交流や保護者同士の交流機会が少ない点	日々の支援業務を優先する中で、交流機会の企画・実施にまで十分手が回っていないこと	地域交流や保護者参加型の行事について、無理のない範囲で段階的に導入を検討する
3	支援内容や活動の意図について、保護者への伝達が十分でなく、「分かりにくい」と感じられる可能性がある点	情報発信の方法や頻度が統一されておらず、保護者に十分に伝わっていないこと	おたより・SNS・活動報告等の内容を充実させ、支援の見える化と保護者理解の促進を図る